

1. 知事の政治姿勢について

(1) 災害対策について

知事は、年頭挨拶の冒頭で「2年連続で豪雨災害に見舞われ、新しい年、まず何よりも被災地の復旧・復興を加速させ、目に見えるような進捗を図っていく」と発言されました。

そこで知事に伺います。

2018年西日本豪雨で被災した、道路、河川、土砂災害箇所における、復旧事業完了までの二次災害防止のための応急対策と本復旧について、県の役割とその対応策をお答えください。

二点目は、防災に関する人材の育成について伺います。

自然災害が常態化する中、日ごろから、市町村長が防災について学習するとともに、災害発生を想定した訓練を行い、災害対応力を身に付けておく必要があると思います。そこで提案ですが、市町村長を対象に「防災塾」をスタートさせ、防災に関する知識の習得に取り組んではいかがでしょうか。見解を伺います。

三点目は、災害時における生活支援の見直しについて伺います。

本県の被災者生活再建支援制度は、住宅の損壊の程度に着目したものであるが、住宅被害のない被災重傷者や失職者などには適用されず、生活支援に対する公平な制度にはなっていません。

家屋の損傷程度より、生活の壊れ具合、いわゆる怪我や失業・生業（なりわい）の廃止などに着目して支援するほうが実情に合っていると思います。改めて長期避難や生業支援そして震災障害などに対して支援の届くよう、改善を加えるなり別制度に作り替えて、実態にあった被災者への生活再建支援制度にしてはいかがでしょうか、知事の見解をお聞かせください。

【知事の答弁】

道路、河川、砂防の復旧事業については、国に申請した全ての箇所において事業採択済であり、地元への説明を行い、準備が整ったところから、順次、本



復旧の工事に着手している。また、事業採択要件を満たさない小規模な土砂災害箇所についても、その後の被害範囲の拡大などが見られた場合には、状況をふまえて、適切に対応していく。

被災箇所における二次災害防止のための応急対策については既の実施しているが、梅雨前までに本復旧が完了しない箇所については、再点検を実施し、必要に応じて対策を講じる。

県としては、着実に工事の進捗を図るとともに、あわせて、市町村が実施する復旧工事に対しても技術的な支援を行うことで、一日も早い、被災地の復旧・復興に全力で取り組んでいく。

災害対応の初動期において、市町村長は、災害対策本部の設置、避難勧告等の発令、応援要請等、第一線の責任者として、危機管理上、極めて重要な判断力が求められる。

このため、県では、一昨年から、一般財団法人「消防防災科学センター」との共催で、過去に災害を体験した市町村長や学識経験者などによる講話を通じて、市町村長が災害発生時にとるべき行動について学んでいただく「市町村長防災危機管理ラボ」を開催してきた。

更に、災害発生を想定した、より実践的な演習を行う必要があると考え、来年1月に、阪神淡路大震災記念「人と防災未来センター」との共催で、

- ①災害発生から数日間を想定し、その後の対応方針を検討する災害対応演習
- ②自治体が決定した方針を的確に住民に伝えるための模擬記者会見などをカリキュラムに取り入れた「災害対応専門研修」を開催する予定としている。

今後も、災害時における市町村長の対応力向上を支援するため、より実践的な研修となるよう努めていく。

被災者生活再建支援制度は、生活の基盤となる住宅の再建を通じて、被災された方の生活の安定と、被災地の速やかな復興を目的としており、住宅が全壊や大規模半壊などの著しい被害を受けた世帯に対して、最大300万円の支援金を支給する制度である。

また、災害で重傷を負われた方に対しては、県災害見舞金の支給や、災害援護資金の貸付に加え、住家被害や負傷の程度に応じ、市町村に義援金を配分するとともに、災害により収入が得られなくなった方に対しては、ハローワーク

や市町村と連携し、就職相談会を実施している。

さらに、県では、大規模な災害が発生した場合に、全庁横断の「被災者支援チーム」を設置し、生活支援のみならず、被災した商工業者や農林漁業者の事業継続支援など、現地のニーズに沿って、迅速かつ専門的、機動的に、支援を行っている。

一方で、現行の被災者生活再建支援制度は、法の適用要件や、支給対象の範囲などに課題があることから、全国知事会では、

- ①同一の災害で被害を受けた場合には、法に基づく救済が平等に行われるよう、全ての被災区域を支援の対象にすること
- ②支給対象を半壊まで拡大すること

といった提言を取りまとめ、昨年11月、国に要望活動を行い、国では、それを受けて、見直しに向けた検討が進められていると聞いている。

県としては、被災された方々に寄り添った制度の見直しが行われるよう、県議会とともに、引き続き、国に働きかけを行っていく。